



第1回鹿児島県SSH交流フェスタ



11月8日(金)、宝山ホール(鹿児島県文化センター)においてSSH交流フェスタを開催されました。この交流フェスタは、昨年度県内SSH指定校が4校体制になったのを機に、錦江湾高校が中心となってSSH連絡協議会を立ち上げて準備を進め、実現にいたったものです。その目的は、

- 1 課題研究に取り組んでいる高校生の探究力やプレゼンテーション能力を高めること
- 2 課題を発見から解決に至る学びの過程を報告しあうことにより、互いに切磋琢磨し意識の高揚を図ること
- 3 県下高校理数教育及び文理課題研究の発展と普及を図るための場とすること、の3点にあります。

大会には県内SSH4校のほか、県内外からも5校の参加があり、ステージ部門12本とポスター部門53本の発表を行いました。**ステージ部門では、錦江湾高校化学班の「炎色分光度計による各金属イオンの定量とその応用に関する研究」、ポスター部門では、国分高校自主ゼミの「抜け殻は語る～国分高校におけるセミ類の発生消長～」が最優秀賞を獲得しました。**

鹿児島大学教育学部の土田理教授をはじめ審査にあられた方々、どうもありがとうございました。第2回目となる来年度は、国分高校が担当校です。当番校としての役割をしっかりと果たしたいと思います。



セミの抜け殻研究班



サイエンス研修



11月15日(金)、1年生全員が7コースに分かれてサイエンス研修に出かけました。

Aコース：自然科学(霧島ジオパーク)	火砕流堆積物、水文地形・地質、貝塚・第4期地質の観察等
Bコース：宇宙・航空工学	第一工業大学、鹿児島空港
Cコース：歴史・考古学	埋蔵文化センター、戦跡発掘現場
Dコース：社会科学・先端企業	県工業技術センター、(株)マイクロカット、(株)霧島木質発電
Eコース：スポーツ科学・先端企業	鹿屋体育大学、(株)FUJITA WORKS
Fコース：文系探究・先端企業	鹿児島大学教育学部・法文学部(研究発表・研究室訪問)、(株)SONY
Gコース：理系探究	県立博物館、鹿児島大学理学部(研究発表・研究室訪問)



好天にも恵まれ、どのコースも「楽しく学べる」フィールドワークとなりました。



←火砕流堆積物地層について
説明を受ける様子

→工業技術センターの取組に
ついて説明を受ける様子

